

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要

建物名称	ネグロス電工新潟営業所	
建設地	西区 亀貝字前田	
用途地域	準工業地域、防火地	
建物用途	事務所、工場	
竣工年	2014年9月 予定	
敷地面積	3,615.04 m ²	
建築面積	1,735.20 m ²	
延床面積	2,414.35 m ²	
階数	地上2F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2013年12月16日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46}{46} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.2		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.5
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	2.8		耐震・免震	3.0
			信頼性	2.6
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.3		建物の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.5
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	3.0
			リサイクル材の使用	4.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.5		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	2.0

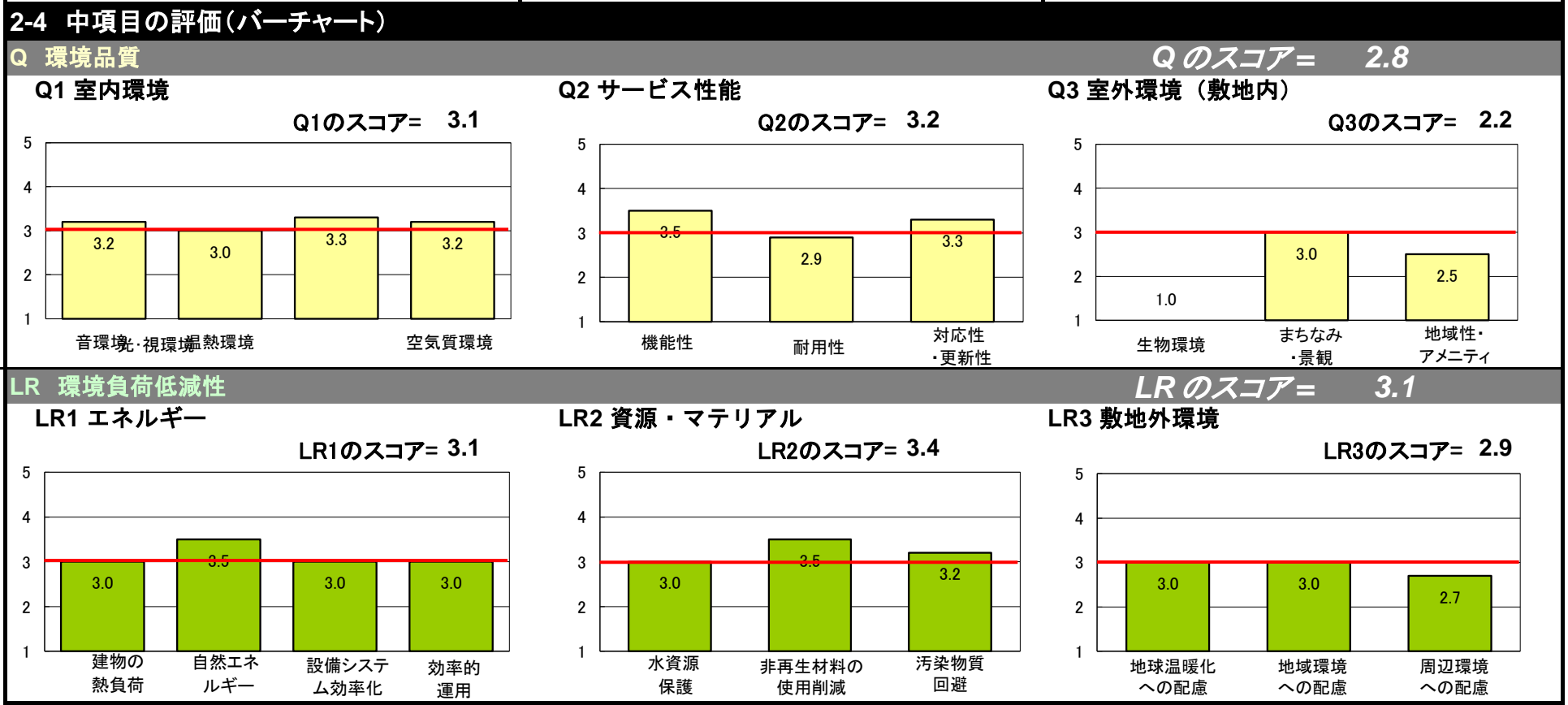
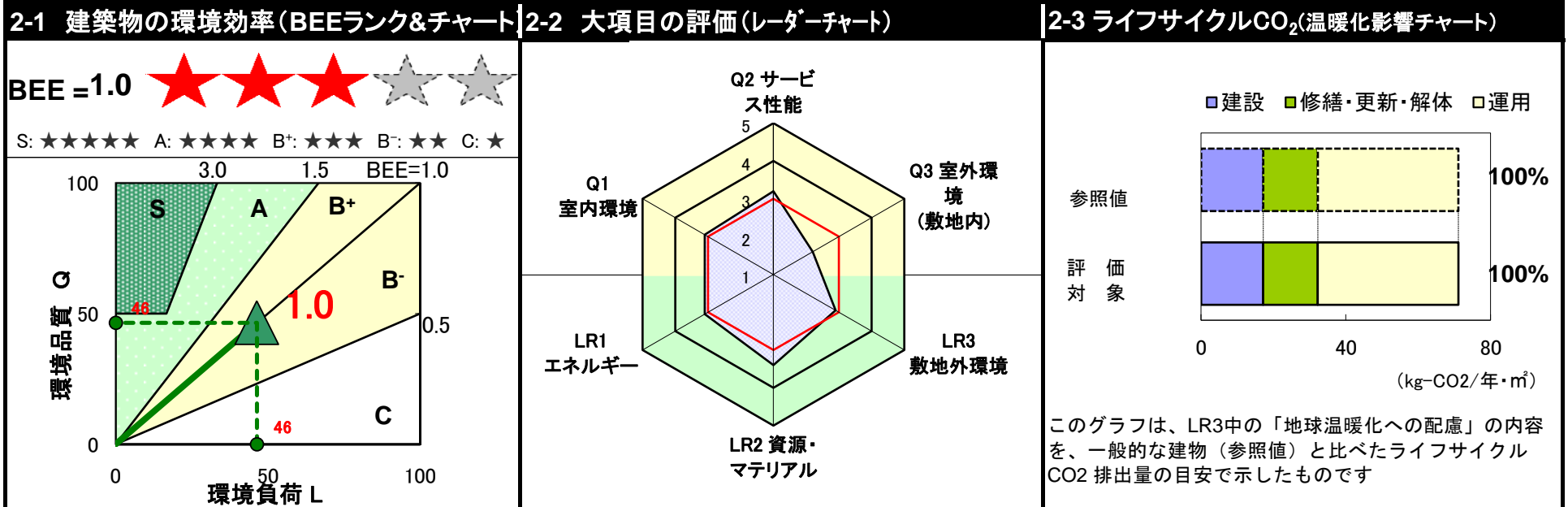
4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 長寿命化の取組み
階高を多めに取り、乾式で建物を構成することで将来的な設備の更新をしやすくしています。
- 自然エネルギー利用の取組み
倉庫部分には排煙兼用のハイサイドライトを均等な配置で備えることで、自然光を積極的に取り入れるように配慮しています。
- 資源循環の取組み
鉄骨造で乾式工法の採用で、将来の解体も行きやすく、建材のリサイクルもしやすくなっています。

CASBEE® 新潟

評価結果内訳

■使用評価マニュアル：CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築（簡易版）2008年版 使用評価ソフト：CASBEE新潟(v.1.3)



2-5 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>周囲に対して建物高さを抑えたシンプルな形状の建物とし、従業員の就労スペースに対しての環境を重点的に考えた計画としています。</p>	<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>主たる居室である事務室は開口部を積極的に取り、自然光を取り入れるとともに、天井と鞆床に吸音性のある材料を選定しています。 また、全館禁煙としています。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>従業員の数に比べて執務スペースを大きくとっており、将来的な人員の増にも対応できるようにしています。 また、男女別の休憩室、食堂も設けています。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>倉庫部分には排煙兼用のハイサイドライトを均等な配置で儲けることで、自然光を積極的に取り入れるようにしています。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>内装材を乾式とすることで、解体時の分別回収が容易になっています。</p>
<p>LR3 敷地外環境</p> <p>敷地内に十分な駐車スペースを確保しています。 建物高さも抑えており、周囲への日影の影響を最小限に抑えています。</p>	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される